

東大野球部

New! メールマガジン

Vol.91

いあつわて

日中はだいぶ暖かくなって参りましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

東大野球部では、先日約2週間に渡って行われた合宿を終え、選手たちは一層力をつけて東京に帰って参りました。福岡、静岡で行われたオープン戦にかけつけてくださった方々、本当にありがとうございます。合宿後もまだまだオープン戦が控えていますので、ぜひ足をお運びください。

今後とも東大野球部をどうぞよろしくお願い致します！

今後の日程

〈春季オープン戦〉

3月15日 13:00～vs 東京国際大@東京国際大G

16日 13:00～vs 白鷗大@白鷗大G

19日 13:00～vs 首都大東京@首都大G

21日 13:00～vs 学芸大@東大球場

13:00～vs 中央大@中央大G

24日 13:00～vs 神奈川工科大@東大球場



ポジション別 合宿の成果

2月23日から3月7日に福岡と静岡で行われた合宿について、練習の成果や現在の心境を各ポジションの選手に聞いてみました！



○投手

中田 悠介(新4年・投手・芝)

僕たち投手のこの合宿での成果は、各自の課題が明確になったことです。2月の雪の影響もあり調整が遅れ気味でしたが、合宿では投手全員がオープン戦に登板し、自分の持つイメージとのギャップを感じる事ができたと思います。

ここから、この合宿で出た課題を各自が潰して投手全体が良い状態で開幕できるようにしたいです。



○捕手

北村 康(新4年・捕手・筑波大駒場)

私たちキャッチャーは合宿で、野球の基本であり特にキャッチャーには必要とされる下半身の強化に励みました。強さだけでなく柔軟性も重視し、強く柔らかい足腰を目指しました。その結果、送球や構えが改善され、より安定感のあるキャッチャー陣へと成長できました。

ぜひこの春は、この鍛えた足腰でチームを支えるキャッチャーにもご注目ください。



○内野手

高橋 壮(新4年・内野手・私立武蔵)

僕たち内野手は合宿を通じて、基本的なプレーを徹底すること、投手も含めた全体の連携を高めることを意識して練習してきました。最初はきこちな部分もありましたが、徐々に形になってきたと感じます。

春のリーグ戦では、内野手の澁刺としたプレーにご期待ください！

編集後記

今回の特集はいかがでしたか。

春季リーグ戦開幕まで、残りちょうど1ヶ月となりました。今季こそは、いつも暖かく応援して下さい。さらには「勝利」という形で恩返しが出来よう、さらに気を引き締め、チーム一丸となって練習に励んで参ります。

今後とも温かいご声援の程、よろしくお願い致します。



○外野手

松田 翔(新4年・外野手・湘南)

合宿では普段試合をしない九州のチームと試合をして、色々と勉強になりました。特に普段自分たちは人工芝で練習をしているので、オープン戦で人工芝より難しい天然芝でレベルの高いプレーをする他の大学の外野手を見て、自分たちももっとできるはずと思い、練習に締め切りが出ました。

リーグ戦まであと1ヶ月弱ですが、最後まで上を目指して頑張りたいです。



お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮

TEL&FAX 03(3811)5100

メールアドレス office@tokyo-bc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

